

2022年度 慶應義塾大学経済学部 日本史

【I】

問1

長崎では相対貿易を通じ多くの金銀が流出しており、これを防ぐために新井白石は海舶互市新例を発し、年間貿易額を制限した

問2 a:8 b:1 c:4

問3

- (1) 米は全国各地から大阪や江戸に集められていたが、取扱量が多く、現物取引が困難であったことと、天候などによる価格変動にも対応するため、手形を用いて先物取引を行う必要があった
- (2) 東国では金貨、西国では銀貨を中心に取引しており、流通貨幣が東西で異なっていたから

問4

- (1) (a) 2 (b) 3
- (2) (ア) 4 (イ) 1

問5 a:1 b:3 c:6 d:4

【II】

問6 a:3 b:1 c:5

問7

- (1) 原敬
- (2) a:1 b:6 c:5
- (3) 領事裁判権を撤廃し、輸入関税の一部を引き下げる代わりに、過半数の外国人判事の任用と内地雑居を認める改正案は政府内外から非難をあびたから
- (4) (ア) 4 (イ) 2 (ウ) 5 (エ) 8
- (5) 前任者の井上準之助は金輸出解禁を実施し、物価の引き下げを図る緊縮財政を進めた一方で、高橋是清は金輸出再禁止を断行し、円安を利用した輸出産業の活性化に加え、赤字国債の発行による積極財政を進めた

問8

軍の最高指揮権である統帥権は天皇に属するという憲法の規定があるにも関わらず、内閣は軍令部の合意なく補助艦の保有量を制限するロンドン海軍軍縮条約を締結したことで、統帥権を干犯していると批判を受けた

問9

日本占領政策の最高機関としてワシントンに極東委員会がおかれ、東京には最高司令官の諮問機関である対日理事会が設けられた

【III】

問10

外国商人には開港場に範囲が限定された居留地が設けられ、自由貿易ではあるが、日本にとっては関税自主権がないという制限があった

問11 a:5 b:1 c:3

問12 a:0 b:3 c:1 d:2

問13 4

問14

(1) 経済の自由化を目的として、財閥を解体しようとしたが、朝鮮戦争をきっかけとする占領政策の変化により、巨大企業の分割は不完全に終わったため

(2) a:5 b:3 c:1 d:2